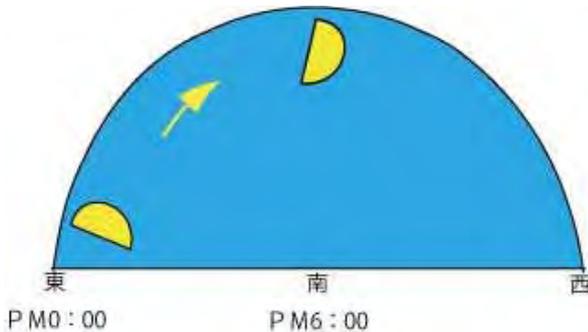


～月の表面の写真 昼間編～

●昼間の月を撮影するとき

対象月齢: 7.0(上弦の半月)前後の月 or 月齢 22.0(下弦の半月)前後の月

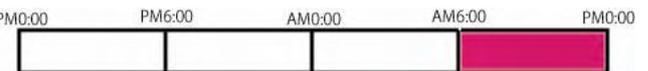
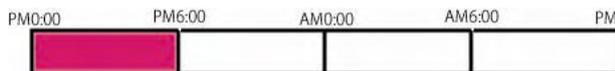
撮影可能な方角 上弦の半月 東(午後)南(夕方) 下弦の半月 南(明け方)西(午前)



撮影可能な時間

上弦の半月 PM12:00頃～PM6:00頃

下弦の半月 AM6:00頃～AM12:00頃



《方法》

- ①三脚にカメラを設置して、月が見える方向に向ける。
- ②コンパクトデジタルカメラをオートモードに設定する。
- ③測光方式をマルチパターン測光に設定する。
- ④ISO感度オートモードに設定する。



2011/10/20 AM10:03 月齢 21.7
ISO 感度 64 F 値 5.8 シャッタースピード 1/250

《昼間の月について一言》

●太陽の高度が上がると、太陽の光の影響をうけるため、月の模様が確認することができなくなります。例えば右の2枚の写真を見てください。これらは2011年10月18日に撮影した写真です。写真①はAM7:45に撮影したもの、写真②はAM10:45に撮影したものです。



わずか2時間の差ですが、写真②は月の輪郭しか確認することができません。

また、当然ながら月と太陽の距離が近いほど、月は太陽の光の影響をうけ、見えにくくなります。よって、三日月や逆三日月のように月と太陽の距離が近い月は、昼間に撮影することが難しいです。

このように、昼間の月を撮影 する場合は、太陽の高度や月齢も考慮する必要があります。